

小中学生の情報機器の学習への利用と情報活用能力の関係

水野 一成,近藤 勢津子,吉良 文夫(NTTドコモ モバイル社会研究所)

【結果】
情報機器を学習での利用が多いと情報活用能力が高い。下位概念では「収集力」「表現力」「処理力」について、利用時間との間に有意差が確認できた。

【目的】情報機器の学習での利用が「情報活用能力」に影響を与えているかを確認する

【調査概要】

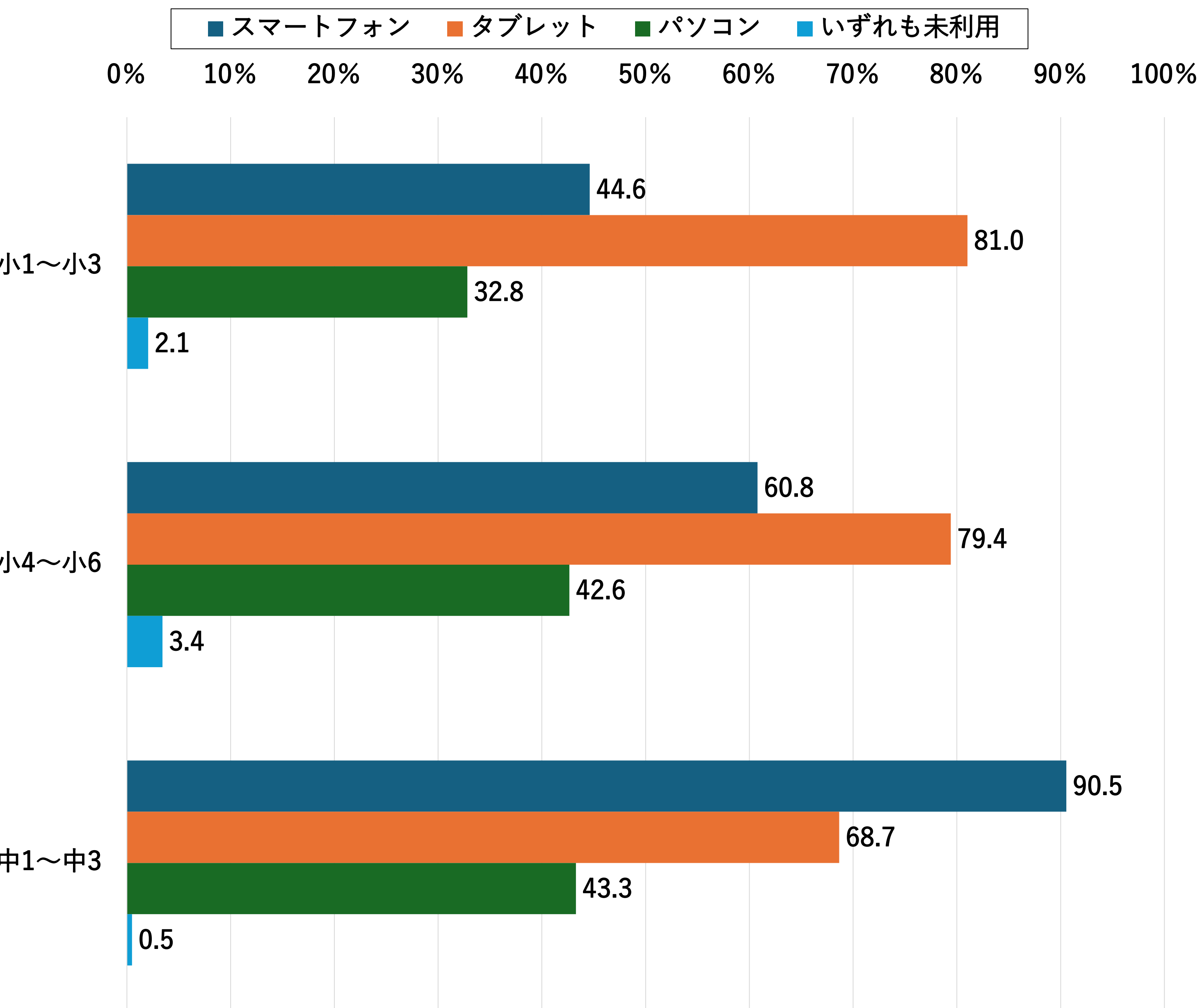
- 2023年10月実査
- ・関東1都6県に在住、小中学生の親子
 - ・性別・学年・都市規模で割付に応じて割付
 - ・訪問留置法を用いて実査
 - ・回答者数600親子（分析対象はNAを除いた593）

【分析】

- ①学習でのインターネット利用時間の多寡により3群に分ける
 - ②利用時間の3群と情報活用能力の得点（※）を比較する
 - ③家庭・学校それぞれの学習でのインターネット利用時間と情報活用能力の得点を比較する
 - ④学習以外でのインターネット利用時間の多寡と情報活用実践力の得点を比較する
- ※情報活用能力に関連する項目計12問（下位概念6項目各2問）を4件法の回答結果を基に4点～1点、計36点～12点で得点化。子が回答

【調査結果】

《背景：情報機器の利用》
殆どの小中学生が情報機器を利用している



《学習でのインターネット利用時間と情報活用能力》
情報活用能力とインターネットを利用した学習時間(※)
(利用なしと毎日1時間以上)との間には差が確認
※家庭・学校は問わず

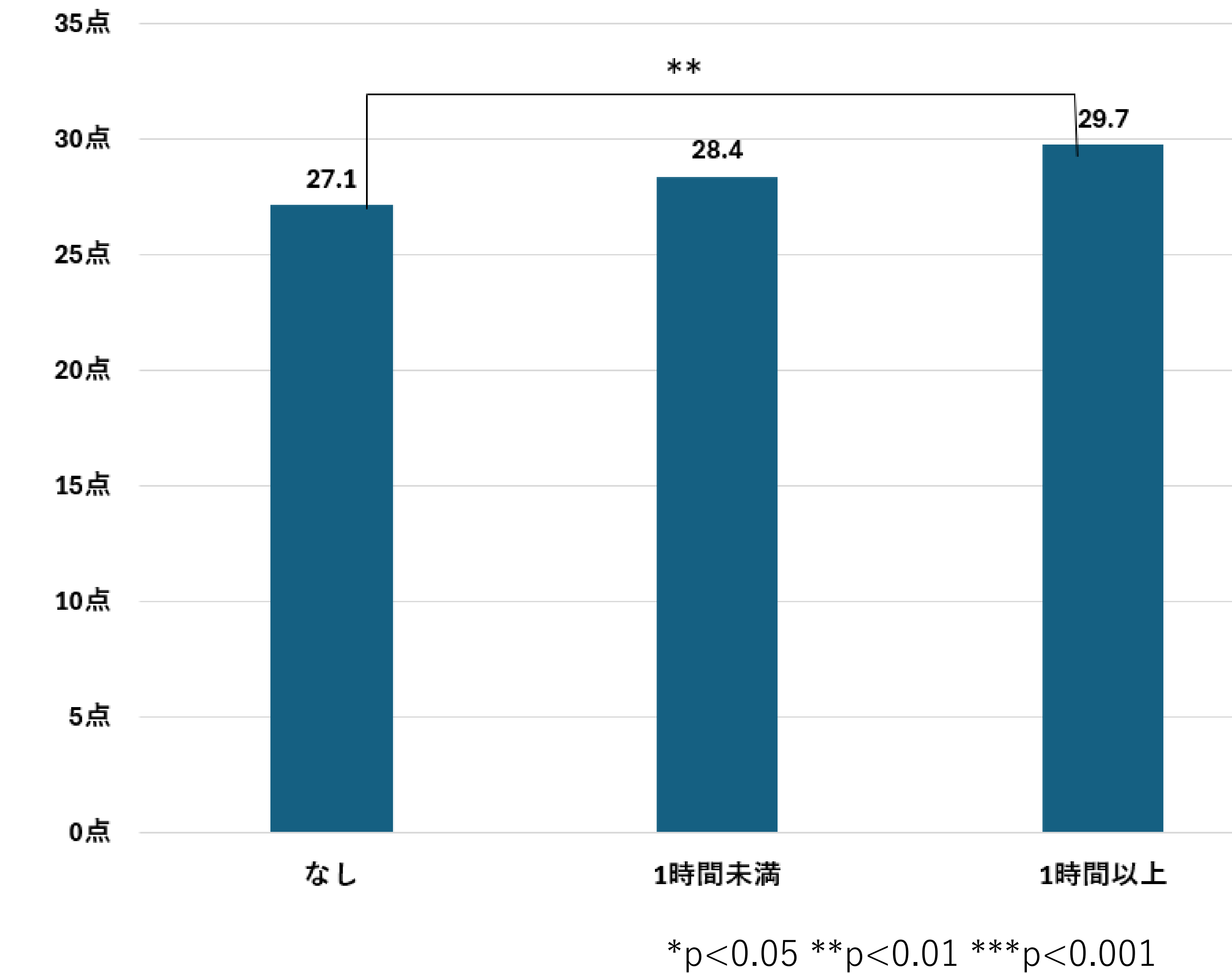


図2 学習でのインターネット利用時間と情報活用能力（上位概念）

《学習でのネット利用時間と情報活用能力（下位概念）》
「収集力」「表現力」「処理力」は、インターネットを利用した学習時間が長いほど、有意に得点が高い

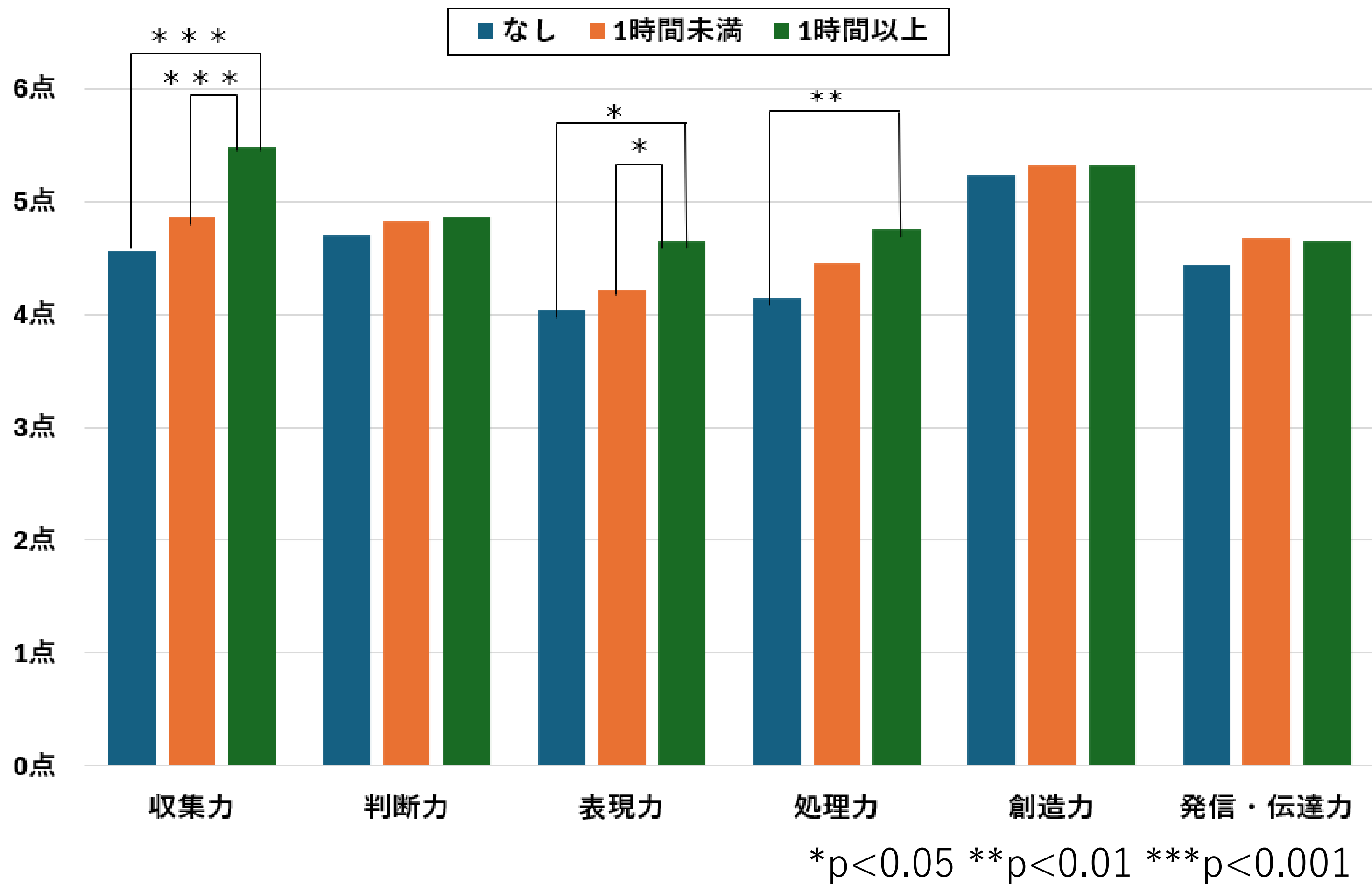
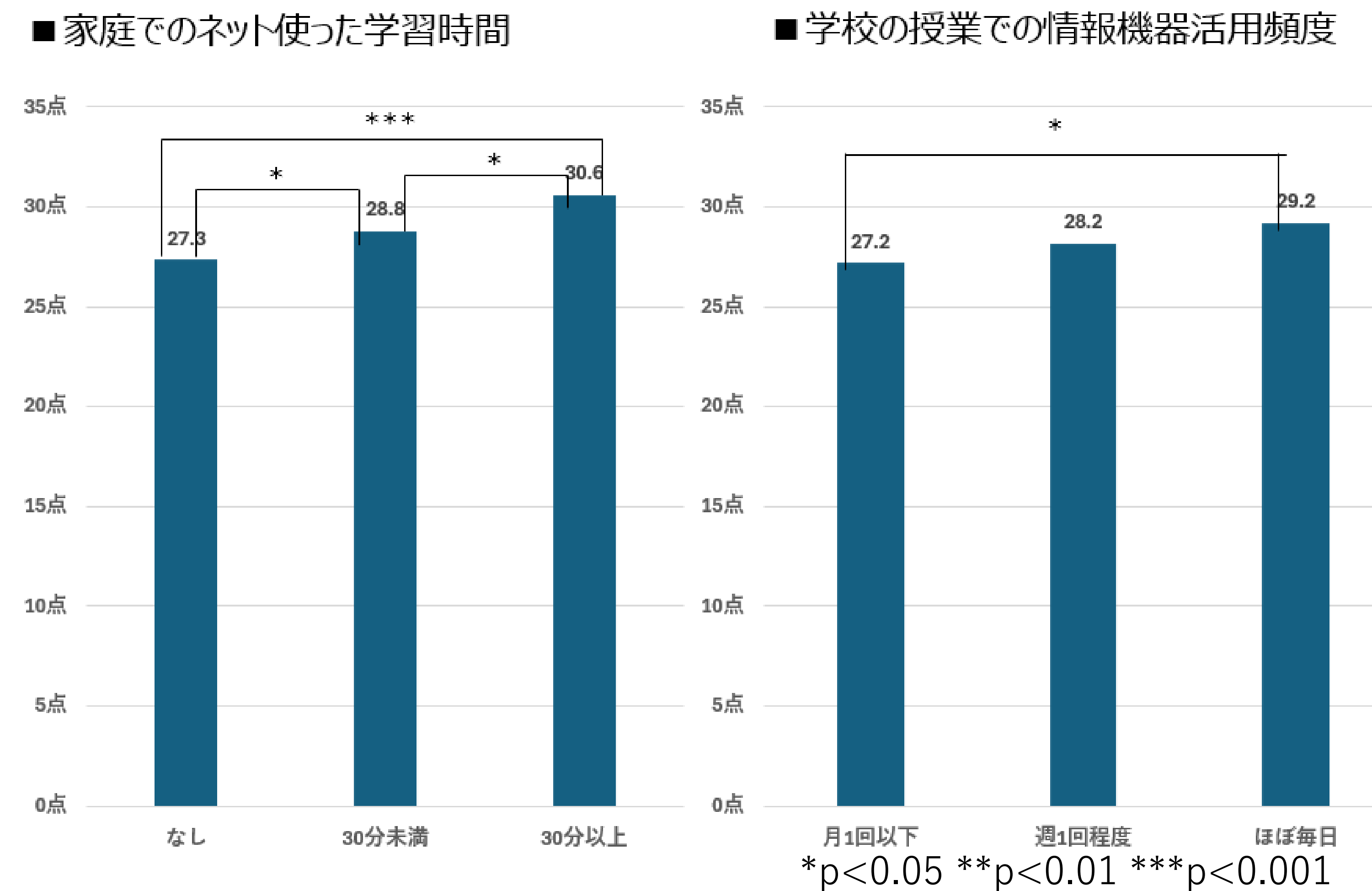


図3 学習でのインターネット利用時間と情報活用能力（下位概念）

《学習でのネット利用時間と情報活用能力（家庭・学校）》
家庭・学校両方とも学習でのネット利用時間が長いと、
情報活用能力が高い



《学習以外でのネット利用時間と情報活用能力》
学習でのネット利用時間と情報活用能力の間には
差が見られない

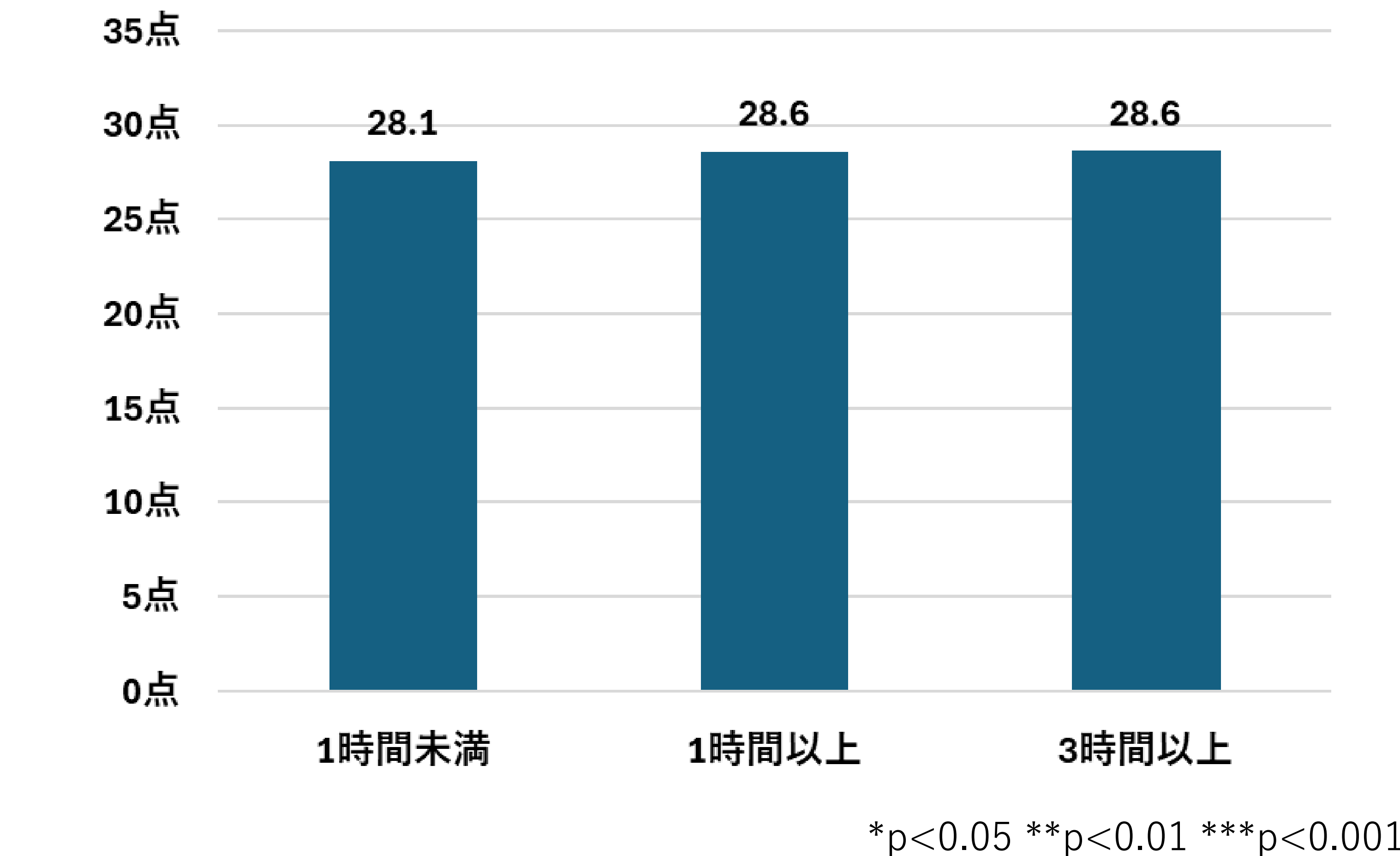


図4 学習以外でのインターネット利用時間と情報活用能力

【参考文献】

- 1)文部科学省（2020）「教育の情報化に関する手引」について 第2章 情報活用能力の育成 https://www.mext.go.jp/content/20200202-mxt_jogai01-000003284_003.pdf（参照日 2024.06.12）
- 2)高比良美詠子,坂元章,森津太子(2001)情報活用の実践力尺度の作成と信頼性および妥当性の検討. 日本教育工学会24(4), 247-256

◇ご案内◇

調査結果は弊所HPで公開『モバイル社会研究所』で検索

